



令和6年度第2回 山梨県いのちのセーフティネット連絡協議会

令和6年の住居地ベースの自殺者の状況

～令和7年1月29日公表「地域における自殺の基礎資料」（暫定値）から～

福祉保健部健康増進課

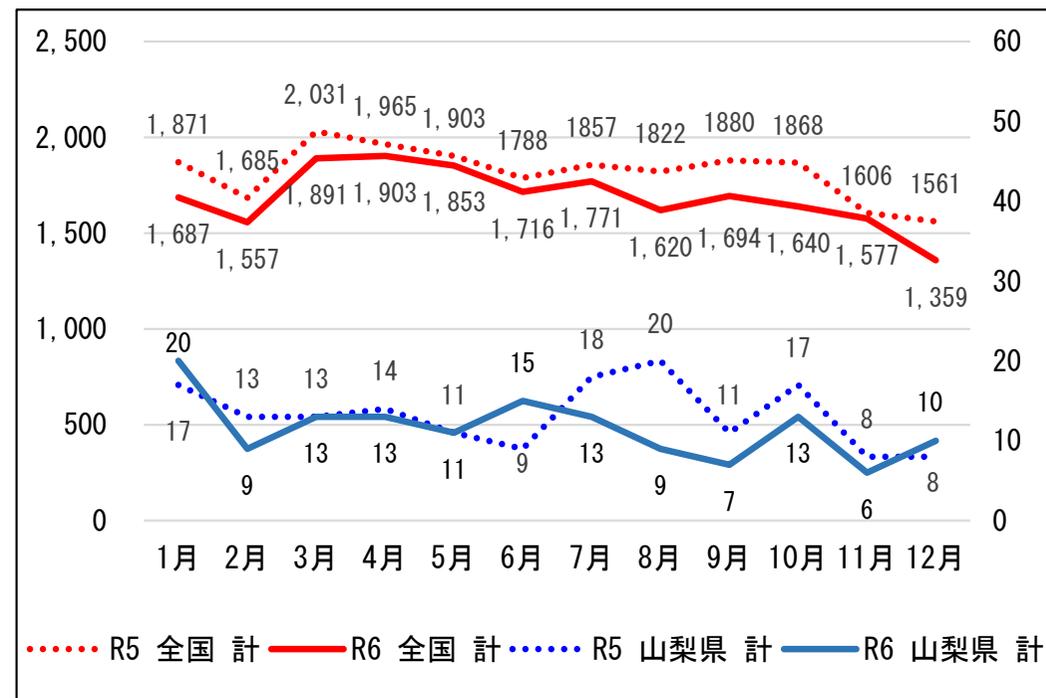
概況

- ◆ 県内に住居を有する方の、**自殺者数は139人**であり、**前年比20人減（12.58%減）**となっている。
- ◆ 全国の自殺者数は、前年比1,569人減（7.19%減）と1978年の統計開始以降2番目に少ない数値になったものの、**小中高生の自殺は527人（前年比14人増）**で過去最多となった。
- ◆ 男女別では、男性が9人減、女性が11人減。
- ◆ 全国では、男性が7.4%減、女性が6.7%減。
- ◆ 月別では、上半期は前年並みで推移したが、下半期は前年を下回る月が続いた。
- ◆ 全国では、全ての月で前年を下回って推移した。

表1：自殺者数の前年比

		R4年	R5年	R6年	増減数		増減率	
					R6/R5	R6/R4	R6/R5	R6/R4
全国	男	14,746	14,862	13,763	△ 1099	△ 983	△ 7.4	△ 6.7
	女	7,135	6,975	6,505	△ 470	△ 630	△ 6.7	△ 8.8
	計	21,881	21,837	20,268	△ 1,569	△ 1,613	△ 7.2	△ 7.4
本県	男	93	111	102	△ 9	9	△ 8.1	9.7
	女	48	48	37	△ 11	△ 11	△ 22.9	△ 22.9
	計	141	159	139	△ 20	△ 2	△ 12.6	△ 1.4

図1：月別の推移



性・年齢別の状況

- ◆ 年齢別では、20代、50代、60代で男女ともに減となった一方、**70代男性が大きく増加した。**
- ◆ **女性で増加した年代は、20歳未満と40代、80歳以上**であった。
- ◆ コロナ禍前と比較すると、**30代、40代、80歳以上の年代の増加**が大きい。

図2：性別・年齢別の前年との増減

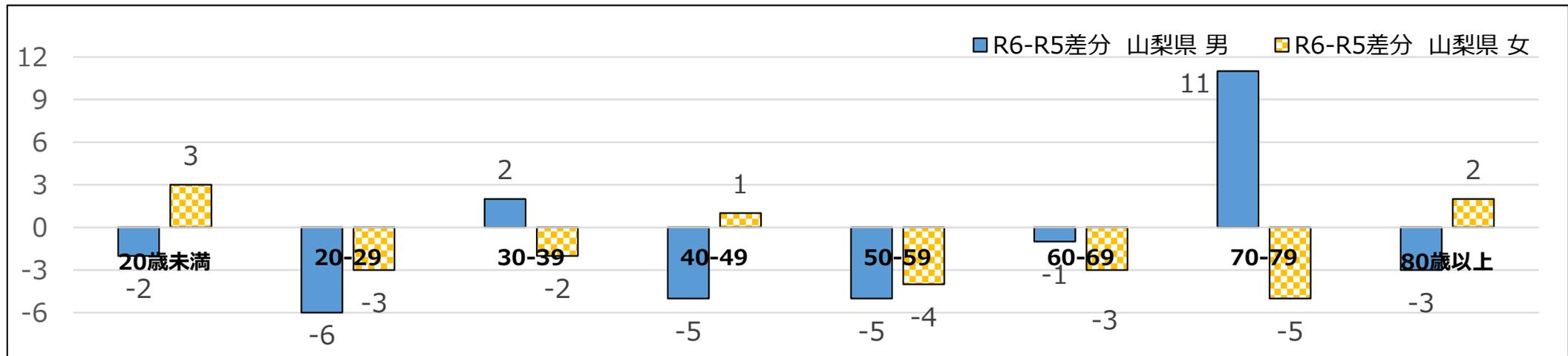
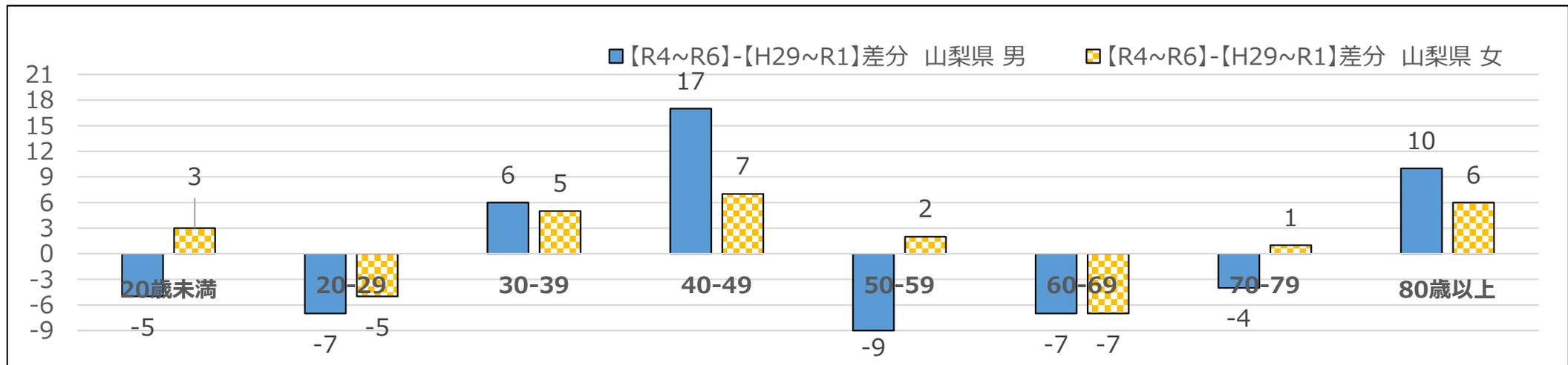


図3：性別・年齢別のコロナ禍前との増減（コロナ禍前【H29～R1】と【R4～R6】の3年合計比較）



職業別の状況

- ◆ 有職者、年金・雇用保険等生活者、その他の無職者が減少。
- ◆ 学生・生徒等は1人増加。

図4：職業別の前年との増減

	有職者	学生・生徒等	主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他の無職者	不詳
R5	69	7	3	6	26	43	5
R6	61	8	3	6	20	38	3
増減	△ 8	1	0	0	△ 6	△ 5	△ 2

原因・動機別の状況

- ◆ 自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。
- ◆ うつ病を含む**健康問題が2.6ポイント増**、**経済・生活問題が0.2ポイント増**、**家庭問題は2.5ポイント減**、**学校問題は1.2ポイント減**となっている。

図5：原因・動機別の構成割合

